



# 22

## 校長室だより（令和8年2月）



高校で働く私たちにとって、2月は新入生を迎えるための大切な入学選抜期間でもあります。すべての職員で慎重な準備を重ねて受検生を迎え、その後も続く様々な業務に当たる、緊張感のある毎日です。

受検生の皆さん、学力検査では持っている力を十分に発揮できましたか？3月には入学前の手続きや説明会があります。高校で皆さんを待っていますね。

### いちだい 2学年の一大イベント



1月21日(水)から23日(金)は、2泊3日の沖縄修学旅行でした。この大きな学校行事の成功に向けて、担当の先生方はもとより学年団の先生方が、様々な準備を重ねてきてくれました。

旅行中の様子は、学校にいる私たちにも teams を通してメッセージや写真が次々と届き、まるで一緒に現地にいるようなライブ感覚を味わいました。学年の先生と生徒たちが力を合わせ、この大きなイベントを無事に終えることができました。



翌週学校に戻った先生方を労いつつ、「面白エピソード」をねだっては楽しんでいたところ、旅行担当T先生が、立派な報告書を提出してくれました。そのタイトルも「修学旅行 面白エピソード」。さすがT先生！「校長室だより」への掲載をしっかりと意識した、愛情溢れる報告書を抜粋でご紹介します。

42期の修学旅行は初日こそ遅刻の生徒が出ましたが、それ以外の集合時間には一度も誰も遅れることなく集合、現地ではバス移動の渋滞による行程の変更にも、生徒たちは時間を詰めて対応してくれました。3日目の班別自主研修でも、誰一人遅刻することなく那覇空港に集合、感動しました。以下、面白エピソードを報告しますので、校長先生がうまく包んでください。

- ・1日目、民泊にてフォトフレームづくりを行っていた男子班。いつもは元気いっぱい過ぎる彼らが真面目に制作に勤しんでおり、「貝殻に色を付けた方がキレイじゃね？」と言いながら生き生きと色付けしている姿に感動しました。
- ・同じく民泊の女子班、体験内容は「タコライス作り」からの「民家の方自作のカードゲーム」からの「カラオケ大会」。民泊ではそんなこともするのかと驚きました。その方は写真家としても活動して

おり、「担任の先生だからあげます！」と、写真を特別にいただき嬉しかったです。

- 2日目、美ら海水族館では見学後のお土産コーナーでジンバイザメのぬいぐるみのくじ引きに多くの生徒が挑戦、見事特賞を当てた生徒が、ホテルの点呼時に1メートルのぬいぐるみを抱え「先生、これキャリーケースにも鞆にも入らないんですがどうしたらいいですか？」と一緒に途方に暮れました。
- バス移動では「沖縄の地名早押しクイズ」で盛り上がり、その中で「城」を「ぐすく」と読むと学んだ生徒たち。学校に戻ってから問題に出してみましたが、バスで回答していた生徒は、しっかり覚えていました！

校長室で読みながら、報告書の最後にあった「教員の面白エピソードも必要でしたら、オフレコでお伝えいたします！」に思わず噴き出した私です。実は既に学年代表のK先生から、宿泊先のホテルでオートロックのドアに閉め出され、廊下で膝から崩れ落ちるT先生の目撃報告をもらっていましたから。



T先生、お疲れ様でした！

小さいお子さんのいるM先生は、ジンバイザメのTシャツをお土産にしたところ、長袖の上は何日も着るほどのお気に入りになった、今朝も着ていましたと、目を細めて話してくれました。

多くの先生方から、学校を離れての生徒たちの姿が、とてもしっかりしていたという報告を受けました。引率の先生方、そして学校対応の先生方が力を合わせ、生徒たちの素晴らしい学びと思い出の機会を作ってくれました。保護者の皆様のご協力にも感謝いたします。そして何より、生徒たちを温かく迎えてくださった沖縄の皆様に、心よりお礼申し上げます。

## 1月のできごと

■ 1月16日の会議後、茶道部のお茶会に招いていただきました。生徒たちの丁寧なおもてなしを味わっているところに、校長呼び出しの全校放送が…。その打合せ後に急いで作法室に戻り、生徒たちとインストラクターのS先生、顧問のT先生の輪に入れていただきました。

お茶菓子は、新年にふさわしくおみくじ入りの焼き菓子です。慌ただしくしてしまったことをお詫びしながらお菓子のおみくじを開くと、「未吉」の文字とともに「口は禍の元と心得、言葉は慎重に選べ」とありました。

その場の皆で大笑い。生徒たちのおみくじは「大吉」や「中吉」だったそうです。和やかでホッとする特別な時間をありがとうございました。



■ 1月に入り、各教室に電子黒板が搬入されました。神奈川県は「かながわ教育ビジョン」に掲げる教育目標の実現に向けて、重点課題を示しています。そのうちの 하나가「学校DX化の推進による教育

の充実」。具体的な取組として、一人一台端末の活用や電子黒板の導入などが挙げられています。電子黒板はここまで段階的に各校に配備されてきましたが、綾瀬西は今年度の予定なのを、先生方と共に待っていました。

3年生が16日の午後に進路活動発表会を行うというので見学に行ったところ、先生方が早速、教室に来たばかりの電子黒板を活用しているのに驚きました。まずはやってみて慣れる、大切な姿勢ですね。後日の職員会議ではM先生による「電子黒板活用のための説明会」が開かれました。生徒の学びが、どんどん変化していきます。



■綾瀬西高校に併設されているデイサービスセンターは、本校の生徒・職員にとって大変大切な場所となっています。今回、ランチ交流と学校開放の記事を会報に載せていただきました。生徒たちの写真とともに紹介いただいた記事の最後に、

「帰りの送迎時間は生徒さんの帰宅時間と重なります。ご利用者が乗った車に向かって手を振ってくださるのを見ると、こちらまで嬉しくなります。」と書いていただいていた。ニコニコと手を振る生徒の姿が目につかびます。

■23日は、卒業を間近に控えた3年生対象の「スーツ着こなし講座」が行われました。

講師に業者の方をお呼びし、スーツや礼服などを着こなすモデルを生徒から公募。モデルにはA先生とI先生も加わるということで、是非見学しようと体育館の扉を開くと、折しも入場で控えているスーツ姿の生徒たちが。「校長先生！」と笑顔で並ぶ生徒たちの何と凛々しいこと！とても似合っていました。身だしなみを整えることは、相手を大切にしている姿勢を示す、社会人としての基本です。自分に自信を与えるという意味でも、大切にしてほしい心がけです。

講師の方によるテンポのいい説明の後、質問タイムの活発なやり取りも楽しい時間になりました。後日、生徒がフォームに入力した振り返りを見せてもらいました。

- 衣服や髪型だけでなく、表情や言葉、態度などの身だしなみを深く理解できた。

「人の第一印象は6秒で決まる」と初めて知りました。

- その場に合わせたスーツを着られるようになろうと思ったし、スーツの種類やデザイン、シューズや靴下の色などを詳しく知ることができ、スーツを着こなせる人に一步近づいたと思った。
- スーツの正しい着方とコートを脱ぐタイミング、脱いだ後の畳み方などを学ぶことができ、とても貴重な時間になった。



念入りに準備してくれた進路支援のS先生・I先生・U先生に、感謝です。

また、お知らせしますね。

